

友情のたすきをつなぐ

～別府中学校区一周駅伝大会 投稿者：別府中学校

別府中学校では、11月10日に昭和37年から続く伝統行事、第46回校区一周駅伝大会を実施しました。校区内の集落のほとんどを駆ける11区間20kmで行われ、集落別に7チームが参加しました。

生徒はお互いに声援をおくり、友情のタスキを懸命につなぐ力走を見せました。地域の方々沿道からの熱い声援があり、大変盛り上がりました。

【結果】1位：依積田A 2位：中原

投稿



美しい調べに生徒たちも感動

～立神中学校で芸術鑑賞会 投稿者：立神中学校

10月29日、立神中学校の体育館にて、国内外でご活躍のピアニスト、柳寿枝先生・斉藤美代子先生、クラリネット奏者の平山美津代先生をお招きして芸術鑑賞会を開きました。

先生方の、楽しくわかりやすい曲の解説を交えながら、それぞれの楽器のこもし出す美しい音色に、生徒たちは聴き入っていました。プログラムの最後は、ピアノ連弾でお二人の息がぴったり合った「天国と地獄」など、華やかな演奏で締めくくりました。



投稿



一人暮らしのお年寄りのために電気設備点検ボランティア

県内の電気工事業者からなる組合の加世田支部青年部が11月20日、市内に身寄りのない独居老人宅の電気設備の点検を、ボランティアで行いました。複数の組に分かれ、市内17件を訪問し、電気設備の危険箇所がないか点検したほか、証明設備の清掃や切れた電球の交換などを無償で行いました。

点検を終え、安全が確認されると、お年寄りの方から「助かりました、これで安心です」と感謝されていました。

平成19年度統計功績者表彰が行われ、永留ゆかりさんが、総務大臣表彰を受けられました。永留さんは、多年にわたり、統計調査員として各種の統計調査に従事して、今回、特に「労働力調査」の功績が認められたものです。

統計調査への尽力に総務大臣表彰

永留ゆかりさん(別府西町)



統計調査関係表彰

長年の統計調査への協力に農水大臣から感謝状

今門信義さん(桜山東町・右)
山口俊行さん(同・左)



各種統計の重要性に対する関心と理解を深めてもらうため、毎年10月18日は「統計の日」として制定されており、この日、鹿児島市内のホテルで、永年にわたり統計調査に協力頂いている農林漁家の方に、農林水産大臣感謝状が贈られました。枕崎市からは、農業経営統計調査に25年の長きにわたり協力された、今門信義さんと山口俊行さんが表彰されました。

「ヤンキー先生」から熱いメッセージ

～参議院議員・義家弘介氏による講演会

「ヤンキー先生」でお馴染みの参議院議員・義家弘介氏の講演が、(社)枕崎青年会議所創立30周年記念講演会として、11月24日に市民会館で行われました。

「今だから共に『生きる力』を考える！～夢は逃げていかない～」と題した講演の中で、義家氏は、子どもたちを取り巻く深刻ないじめの実態や、携帯電話の普及が与える影響等について、ときにはユーモアを交え、ときには厳しい口調で、満員の観衆に訴えました。

また、自身も子どもを持つ親として、食育の重要性を説くとともに、「子どもの本当の表情が見えるのは登校前の朝の時間帯。子どもと朝食を一緒にとり、会話することを大切にしてください」と強調されていました。



秋晴れの下、景色を楽しみさわやかな汗

～さわやかウォーキング

市内の風景を楽しみながら歩く「さわやかウォーキング」が10月27日に開催され、親子連れなど78名が参加しました。コースは、国光公園出発の火之神公園折り返しの約7.5キロと、枕崎漁港折り返しの約3.4キロの2コース。参加者たちは、専門家による正しいウォーキングフォームの指導に熱心に聞き入り、その後のウォーキングでも習ったフォームを実践し、思い思いのペースで秋の枕崎を楽しみながら全員完歩しました。

その後の昼食では、歩いて消費したカロリーと食べる量を比較し、健康づくりのための運動と食事の関係を学びました。



枕崎茶業青年の会が産地賞の栄誉

～鹿児島県茶業青年の会品質向上共進会

鹿児島県茶業青年の会品質向上共進会において、県内各地から95点が出品される中、枕崎茶業青年の会の3名が、1位の九州農政局長賞など特別賞を受賞し、見事枕崎が産地賞に輝きました。11月6日に志布志市で行われた鹿児島県茶業振興大会で表彰されています。

14日には市長への報告が行われ、市長からお祝いの言葉が述べられました。特別賞は次のとおり。(敬称略)

- 【九州農政局長賞】森田宏明
- 【茶業会議所会頭賞】道野貴久
- 【経済連会長賞】茅野真一



中国雑技団の演技に生徒たちが感動

～枕崎中学校で中国雑技団・武術団との文化交流

枕崎中学校で11月20日、同中学校の全校生徒と、中国河南省雑技団・少林寺武術団との文化交流会が行われました。これは、日中友好35周年行事の一環として、同中学校の卒業生である、NPO法人環アジア国際交流協会会長の加治義彬さんが招致し、実現したものです。

雑技団の目を見張るようなアクロバットの数々と、武術団の力強い演技を観劇した生徒たちは、技が繰り出されるたびに、驚きや感動の声をあげていました。

また、生徒たちからは、「私たちの大好きな歌、皆さんも好きになってくれたらうれしい」と、全員で感謝の気持ちを込めた「島唄」を歌い、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。